



# はくび通信

Year 2018年  
Season 秋号  
No. 29



## 落慶法要

### 平成30年7月豪雨について

西日本豪雨災害により被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。万松寺一同謹んで亡くなられた方に哀悼の意を表し、被災地の一日も早い復興と被災された皆さまのご平安・ご安全をお祈り申し上げます。



### 白龍館（はくりゅうかん）

平成7年（1995）に発生した阪神淡路大震災では、神戸の三宮センター街をはじめとする多くの商店街が、老朽化した木造家屋の火災や倒壊などにより甚大な被害を受けました。大地震の発生は、この東海地方でも以前から予想されており、万松寺では、この大須商店街も同様の被害が起こる可能性がある」と長年心配してまいりました。

平成29年（2017）4月、万松寺は戦後復興期に木造で建てられた不動堂・稲荷堂を、十分な耐震強度を持った万松寺新諸堂「白龍館」へ建て替えました。



### これからの万松寺

大須商店街が変化を受け入れ、変化を続け、新たな潮流を生む街であるように、万松寺もまた新時代へ向けた新たな潮流を生む寺でありたいと思います。万松寺では、平成30年（2018）11月25日（日）に「白龍館」の落慶法要を行います。万松寺が人々の「集う場所」であり続けるため、この落慶法要を機に長年苦楽を共にしてきた商店街とより密に連携し、更なる地域活性へ貢献できるように、日々邁進していく所存です。

阪神淡路大震災を教訓に、都心の寺である万松寺が、商店街を訪れる皆様の避難所となるために何か必要かを考え続けてきた結果、鉄筋コンクリート造りとなりました。また、災害時に白龍館が皆様の「助かる場所」でありたいと考え、日頃から定期的に炊き出し訓練や放水訓練などを行っています。その他にも、商店街を訪れる皆様に「開かれたお寺」として常日頃から親しんでいただけるように、老若男女が楽しめる多様な行事を行っています。



### 落慶法要（らっけいほうよう）

落慶法要とは、神社仏閣の新築・再建・修繕・改築に対する祝賀の儀式のことで、正式には「落成慶讃法要」といいます。一般的に建物の完成には「落成」という言葉を用いますが、神社仏閣の完成ではこの「落慶」という言葉を用い、慶賀讃嘆の心を表します。落成というのは中国発祥の言葉で、「落」という文字は元々宮廷が完成した時の祭事のことを表した言葉でした。現在では、建物の完成そのものを意味する言葉として広く用いられています。

万松寺では落慶の吉日に際し、首座法戦式と晋山上堂を同日に行います。首座法戦式は、首座という修行僧のリーダーが住職に代わり「悟りとはなにか」といった禅問答をする儀式です。晋山上堂は、新しく住職を任命した僧が須弥壇の上で説法を行う儀式で、今回は万松寺の末寺である桂昌寺の新住職が説法を行います。

合わせて先代住職の十三回忌法要と檀家および関係者総回向も勤めます。

四七〇年の歴史と伝統  
織田家・尾張徳川家ゆかりの寺院が管理する

# 万松寺納骨堂

1 由緒ある寺院による安心の永代供養  
2 天候に関わらずお参りができる快適な屋内施設  
3 地下鉄「上前津駅」徒歩3分の便利な立地

織田信秀公木像  
万松寺蔵

私達が、お護りします。

毎朝夕の勤行と彼岸やお盆など季節ごとに法要を執り行い、永代に亘り大切にお預かりいたします。

フリーダイヤル 0120-157-942  
イコーナ クヨーニ  
ご見学・ご相談随時承ります 万松寺

〒460-0011 名古屋市中区大須3丁目29-12

国税OBが、相続税対策を提案！  
プロ中のプロ達が、あなたのお悩みを解消します！

## 名古屋相続税相談所

TEL 052-759-5130  
FAX 052-759-5131  
名古屋千種区池下1丁目4-15川辺318ビル6A

運営会社 株式会社 PLUS-A 受付 税理士法人フォルス

整理・片付けお手伝いします  
捨ててしまう前に相談してみませんか？

## 古いもの買います

東海全域に対応いたします

買取専用フリーダイヤル 0120-73-1022  
古いもの担当の遠隔までご連絡ください

古美術 三川屋 MIKAWAYA

# これからの行事予定

9/21(金)  
22(土)  
秋彼岸  
合同法要

9/28(金)  
秋期不動大祭

身代不動明王のご真前にて災難消除、病氣平癒、無病息災、身体健全、交通安全、家内安全の祈禱を行います。



12/7(金)  
8(土)  
スジャータまつり

お釈迦様のお悟りの日(成道会)をお祝いします。前日の宵山では、奉納された提灯を山車に飾り、18時から連夜法要と点灯式が行われます。当日は、スジャータ姫が山車とともに大須商店街をパレードします。パレード終了後、成道会の法要と牛乳配肖を行います。



11/25(日)  
落慶法要  
先住忌

新諸堂「白龍館」の落成を祝う法要を行います。あわせて当寺四十一世住職の十三回忌法要を行います。

12/16(日)  
秋葉大祭

あきばさんじやくぼうだいこんげん 秋葉三尺坊大権現のご真前にて火防守護などの祈禱を行います。

※行事予定は変更となる場合があります。詳しくは万松寺までお問い合わせください。

**身代不動明王縁日**  
毎月28日開催  
身代わり餅つき18時〜

祈禱・供養 随時受付

行事・祈禱・供養へのお問合せ・お申込みは  
祈禱受処 または  
052126210735  
(年中無休 9時〜20時)にて承ります。

## 万松寺の仏様

みがわり  
ふどうみょうおう

# 身代不動明王

万松寺の身代不動明王の「身代」という名の由来については、これまで幾度かお話ししてまいりますので、今回は不動明王そのものについてお話ししたいと思います。

不動明王は、五大明王の中央に配される明王です。日本では、空海が中国修行を終え帰国する際に、暴風雨で船が沈みそうになったのを不動明王に救われたことから熱心に不動明王を信仰し、それが各地に広まったといわれています。以来「お不動さん」の名で親しまれ、宗派を超えて多くの人々に信仰されています。

一般的に明王は、忿怒相(ふんぬそう)と言われる怖い形相をしています。以来「お不動さん」の名で親しまれ、宗派を超えて多くの人々に信仰されています。



## ぷち終活講座

終活ってなに？  
本当に必要??

「終活」とは、平成21年に週刊朝日が造った言葉で、当時は葬儀やお墓などを事前準備することを意味していました。現在では、人生の終焉をより良く迎えるために、自分だけでなく、残される家族・知人の事も考えながら幅広く準備をすることを意味するようになりまし。最近耳にする機会が増えた、エンディングノート、生前整理もそのひとつです。

終活という言葉をよく耳にするようになった要因は、超高齢化社会を迎え、「死」を身近なものとしてとらえる方が増えていることや、核家族化が進んだことで、家族の絆が弱まり「子どもを頼りにできない」「家族に迷惑をかけられない。」と考える方が増えているためだと言われています。

ひとは、社会や家族体系が変化しても、ひとりでは生きていくことは出来ません。また、誰とも関わらない人生の終焉も有り得ません。

そうであるならば、必ずやってくる「死」について、周りを含めて早めに準備し

ておくことで、自分も周りもゆとりが生まれ、より充実した人生を過ごすことができるようになるのではないのでしょうか？

自らの「死」について考えることは、「まだ早い。」と思われるかもしれませんが、いつなら早くないのでしょうか？「死」の時期は自ら決められるものではなく、不慮の事故など突然その時を迎えることもあります。

終活なんてまだまだ先の事だと考えず、人生の節目を迎えた時などに少しずつ終活を始めてみてはいかがでしょう？ また、すでに始めている方は自分の思いが変わっていないかなど見直すのも良いかもしれません。

**万松寺終活講座**

「知っておきたい終活の1歩」をテーマにした僧侶による法話と専門家による講座。

日時 9月2日(日)  
10時〜12時半  
(受付:9時半)

会場 万松寺白龍館2階  
白龍ホール

お問合せ  
万松寺終活講座担当  
052126210735

受講無料

いう縄を持っています。背後は、三毒を喰らう守護神迦楼羅(かるら)の吹く炎を表す「迦楼羅焰(かるらえん)」を背負っています。

足元は、衆生を救済するまで、ここを動かないという強い意志を表すかのよう、非常に強固な金剛石に鎮座しています。

不動明王の姿は時代や背景によつて異なるものとされています。例えば、先に紹介した天地眼と牙上下は、平安時代中期以降の姿とされており、それ以前の不動明王は両目を大きく見開き、牙も左右ともに下方を向いています。しかし、姿が異なっても衆生を救済するという役割が変わることはないため、現代においても無病息災や家内安全等の現世利益から厄難消除や災難消除等の邪気払いなど様々な御利益を求めて各地で信仰されています。

中国の「聖無動尊一字出生八大童子秘要法品」(「秘要法品」)に

**不動明王の真言**

ノウマク サンマンダー  
バーサラタン センター  
マーカロシャーダー  
ソハタラヤ ウンタラター  
カンマン

**身代不動明王の御利益**

厄難消除、災難消除、身体健全  
無病息災、病氣平癒、交通安全  
家内安全、開運成就、良縁成就  
安産成就

※1..人間をはじめとする、生命のある全てのもの。  
※2..己自身が悟りを求めて精進すること。自己利益を表す。  
※3..衆生を救うために精進すること。他者利益を表す。  
※4..むさぼり・いかり・おろかさ

大切な家族だから...皆でお見送り

ペット葬儀・ペット火葬・納骨堂  
ペットセレモニーリリーフ  
24時間受付 携帯・PHSからもご利用いただけます。  
0120-332-594

**大須の移動車火葬**

ご自宅または、ご指定の場所までご訪問致します。  
ご来場も可能です。

ハムスター・インコ・うさぎ などの小動物もご相談ください。

相続・贈与について、どこに相談すればいいか困っていらっしゃいませんか？

相談無料

保険ライコでは、お客様それぞれの状況をお聞きした上で、税理士・司法書士の方と連携し、最適なお提案を致します。

ご予約はこちら 0120-939-460

名古屋市内3店舗(黒川・榎田・守山)  
※ご希望により訪問も対応致します

いつまでも安心な人生を。

**死後事務支援協会**

死後事務支援協会は国家資格を有する士業団体による運営です。

おひとり様、家族に迷惑を掛けたくない方、介護の現場で働かれている皆様へ

こんな事でお困りでしたら  
●死後の遺体の引取り、喪主の代行、納骨代行などの死後の手続き  
●死後の未払い医療費、施設利用料の支払いなどの清算業務  
●遺品整理及び家屋の明け渡しなどの代行業務

その他、死後の手続きの事ならどんなことでも専門の士業が対応いたします。

一般社団法人 死後事務支援協会 052-653-3117

お客様のご自宅、会社へお伺い致します!

**司法書士 行政書士 いいぬま事務所**

◆遺言書作成、相続手続き全般  
◆贈与・売買による不動産の名義変更  
◆会社設立、役員変更、会社の解散

土日でも対応いたします  
TEL 052-848-9307  
詳細はホームページで

〒458-0044 名古屋市緑区池上台2-254-1池上館206号  
いいぬま事務所 検索 http://www.shi-gyo.com 代表 飯沼 誠

■身体の中のいらぬものは外へ出そう！

今年梅雨明けが早く、また猛暑日が続きましたが、皆様体調など崩されていませんか？ 歳を重ねるほど、自分や周りの方の身体を気遣うようになってきていることに気が付きます。

そんな時は「身体を良くする」という思いから、「良いものを取り入れる」ということばかりに目が向きがちですが、今回は「悪いものを外へ出す」ということに着目したいと思います。

まず、身体に悪いものとして「重金属が挙げられます。ただ、重金属といっても鉄など人体にとって必要なものもありますので、「重金属＝悪いもの」というわけではありませんが、適量を超えて蓄積されると身体を蝕み、病気になるったり、脂肪が重金属を覆い、余分な脂肪となることもあります。



ただ重金属は、あらゆる食品に含まれていますので、日常生活の中で簡単に取り込まれてしまいます。ではどうしたらいいのでしょうか？

そこで着目するのは、「汗」です。何気なくかいている「汗」ですが、汗の中でも皮脂腺の分泌物を含む汗は、デトックス効果があり、脂肪と結合した重金属などを排出すると言われています。その様な「汗」をかくには、やはり運動をする事が一番の近道です。適度な運動は、悪いものを外へ出すだけでなく、筋力維持や肥満防止にもなります。

また、「悪いもの」というのは必ずしも目に見えるものという訳ではありません。生き物には「気」がめぐっており、「気」の滞りは、心、ひいては身体にまで悪影響を及ぼします。そんな時は、大きな声を出してみてください。悪い気が外に出てスッキリと解放されたような気持ちになれるはずです。

皆様の日々が心身ともに健やかでありますように。

万松寺住職 大藤 元裕 合掌

## 僧侶が教える

# 仏教の豆知識

### ■仏説父母恩重経を読む

「父母恩重経（ふぼおんじゅうきょう）」は、七月に開催された仏教勉強会のテーマでしたが、今回は皆様にその内容の一部をご紹介します。

このお経には、親から子へと永遠に注がれる愛情が、「十種の恩徳」として説かれています。

- 一 懐胎守護（かいたいしゅご）の恩  
母は、十月十日我が子をその身に宿し、身重（みおも）の中も一途に安産を願います。
- 二 臨産受苦（りんさんじゅく）の恩  
母は、陣痛や出産の喩え様もない苦しみに耐え、我が子の命の誕生を守り通します。
- 三 生子忘憂（しょうしぼうゆう）の恩  
母は、元気に生まれた我が子の姿を見ると、生みの苦しみを忘れ、皆と心から喜び合います。
- 四 乳哺養育（にゅうぼうよういく）の恩  
母は、自らの命の源から母乳を作り、我が子を胸に抱いてそれを与え、育てます。

- 五 廻乾就湿（かいかんじゅうじつ）の恩  
母は、自分の居場所は寒くとも、我が子には暖かい場所と布団を与えます。
- 六 洗濯不浄（せんかんふじょう）の恩  
父母は、我が子の糞や尿の付いた肌着を、厭（いと）うことなく清めます。
- 七 嚙苦吐甘（えんくとかん）の恩  
父母は、我が子にはできる限りの御馳走を与え、自らは残り物や粗末なものを食べます。
- 八 為造悪業（いぞうあくごう）の恩  
父母は、我が子の為であれば、自ら悪行も行い、その罰さえ甘んじて受けます。
- 九 遠行憶念（おんぎょうおくねん）の恩  
父母は、「可愛い子には旅をさせよ」と送り出したあと、我が子が帰ってくるまで心配し続けます。
- 十 究竟憐愍（くきょうれんみん）の恩  
父母は、たとえ自分があの世へ逝っても、我が子を守り続けたいという強い思いを持っています。

## 万松寺歴史秘話

### ■仏舍利（ぶつしゃり）

皆さんは「仏舍利」という言葉をご存知でしょうか？「仏舍利」とはお釈迦様のご遺骨のことを指します。実は万松寺には、短いながらも仏舍利が安置されていた時期がありました。

仏舍利は、明治31年（1898）、お釈迦様の生誕の地であるルンビニの遺跡から「お釈迦様のご遺骨である」と記された壺の中から発見され、その存在が証明されました。その仏舍利は、当時唯一の仏教国であったシャム国（現在のタイ）に贈られました。その時、日本の仏教界がシャム国王に分骨を懇願したところ、快諾を得ました。明治33年（1900）、シャム国王より下賜された仏舍利は京都に仮安置され、お祀りする場所について議論が行われました。明治35年（1902）、名古屋市内に安置することが決まり、明治37年（1904）に



愛知県田代村（現在の千種区）に「覚王山 日蓮寺（かくおうざん にっせんじ）」が創建するまでの二年間、仏舍利は万松寺に安置されました。京都から万松寺まで仏舍利を運ぶ際は、数百人の僧侶が京都へ出向き、名古屋市中の家々が仏旗と軒燈を掲げ、数十町の長さに渡る大行列が発生するなど、大活況だったそうです。万松寺で行われた拝瞻式（はいせんしき・仏舍利を拝みお釈迦様の威徳を偲ぶ式）には、ワチラーウット皇太子も参列されました。

「覚王」というのは「ざとりを開いた王族」という意味で、お釈迦様のことを表しています。現在の「覚王山」という名前はここからきています。また、「日蓮寺」という名前は、日本とシャム（暹羅）国の友好を表したものです。昭和14年（1939）、シャム国からタイ王国に国名が変更されたのを機に「日泰寺」と改称され、現在に至るまで日本とタイを結ぶ友好の懸け橋となっています。



このように「父母恩重経」では、我が子の為に献身的に尽くしてくれる父母の恩徳が述べられています。

更に、このお経の続きには、子から親へ報恩感謝の心を捧げることの大切さが説かれています。

また、お盆の法事の由来となった「仏説盂蘭盆経」で説かれていることも、報恩感謝と孝養の功德の話に繋がるものです。

お釈迦さまの十大弟子の一人である目蓮（もくれん）尊者の母は、我が子目蓮の養育のために、人の不幸を顧みず悪行を行ったため、餓鬼道に堕ちてしまいました。これがご先祖様への報恩感謝の供養へと繋がったとされています。

現代の核家族社会において、親子断絶に関する話をよく耳にします。「父母恩重経」は、このような社会に警鐘を鳴らしているのではないのでしょうか。



万松寺では、毎月第三土曜日に仏教勉強会を行っております。毎月異なるテーマについて、僧侶が分かりやすく説法致します。お気軽にご参加ください。

### 2018年秋 仏教勉強会開催予定

- 会場 万松寺 白龍館 4F
- 講師 万松寺僧侶
- 定員 20名
- ※定員になり次第締め切らせていただきます。
- 参加費 500円/回
- 参加資格 小学生高学年以上

■9月15日（土） 16時～

「阿難と施餓鬼」

■10月20日（土） 16時～

「蓮如上人「御文（おふみ）」から「八万の法蔵」

■11月17日（土） 16時～

「弘法大師空海の生涯」

詳しくは万松寺のWEBサイトもしくはお電話にてご確認ください。

お申し込み・お問合わせ

WEB

万松寺 仏教講座

電話 052-262-0735

お葬式から法要まで、全てお任せ下さい。



葬儀・火葬  
ご家族の気持ちに寄り添い、心を込めてお別れの時をお手伝いいたします。葬儀・火葬 26,400円～



納骨・法要  
個別納骨壇と合同墓がございます。霊廟内での法要も承っております。納骨 13,200円～

ご見学随時承っております。お問合せ・ご相談もお気軽にどうぞ。

フリーダイヤル イコーナ クローニ 0120-157-942

受付時間 9:30～18:00

所在地 〒460-0011 名古屋市中区大須 3丁目 30-40 万松寺ビル北館 9F

知っておきたい終活の一步

## 万松寺終活講座

参加無料

日時 9月2日（日）10時～12時30分  
受付 9時30分～ 定員 50名  
会場 白龍ホール（万松寺白龍館2F）

参加方法 ▶ 電話予約または直接万松寺へお越しください。

1部 10:00～10:50

お坊さんの終活法話 四苦八苦と向き合う、お釈迦様の智慧。  
「生・老・病・死」と「愛別離苦」「怨憎会苦」「求不得苦」「五陰盛苦」、人生の四苦八苦から解放される為の智慧を学びます。  
講師：万松寺僧侶 矢倉 慶城

2部 10:55～11:55

安心！終活専門家セミナー あなただけの死後の手続きを考えてみませんか？  
「家」から「個」に変化する時代。自ら描いた最期を確実に実行するための死後手続のポイントをお伝えします。  
講師：一般社団法人 死後事務支援協会 谷 茂

3部 12:00～12:30

知っておきたいお墓のイロハ 正しい散骨の知識。  
近年増加傾向にあります。実はトラブルも多い「散骨」。正しい知識を身につけるため、散骨の現状をお伝えします。  
講師：万松寺職員

※申し込みは先着順です。当日受付可能ですが、満席の場合はお断りさせていただきます。

ご予約・お問合わせ ▶ 052-262-0735 万松寺「終活講座担当」受付時間：10時～18時

大切な家族が 安らかに眠れる場所

## 万松寺動物霊廟



ありがとうの 気持ちを込めて

# 万松寺日記

## 動物霊廟「Passo」オープン

■平成30年6月7日(木)  
万松寺動物霊廟「Passo」がオープンしました。  
大切なペットの供養を万松寺が責任をもって行います。火葬や葬儀、法要、納骨までニーズに合わせて対応いたします。



## お盆行事

■平成30年7月14日(土)  
8月10日(金)～8月15日(水)  
お盆合同法要では、万松寺納骨堂契約者様のご先祖様を懇ろに供養させていただきます。  
■平成30年8月12日(日)  
15日(水)



ご先祖様の精霊が無事に現世と浄土を往来できるよう、道しるべとなる迎え火・送り火を行いました。

## こども参禅会

■平成30年7月22日(日)  
7月23日(月)  
30名を超える小学生の皆さんを万松寺合歓別院(三重県志摩市)に迎え、僧侶と一緒に坐禅体験などを行いました。



## 大相撲名古屋場所 武蔵川部屋宿舎

■平成30年6月26日(火)  
7月22日(日)  
武蔵川部屋が、本堂2階の大広間を宿舎、万松寺横の公園を稽古場として大相撲名古屋場所に臨みました。  
本場所前には、必勝祈願の祈禱を行いました。  
朝稽古の見学やちゃんこ振る舞い、激励会など多くの方に足を運んでいただき、活気にあふれていました。

## 七夕祈禱会

■平成30年8月17日(金)  
旧暦七夕に七夕祈禱会を行いました。  
皆様お願いを書いた短冊を祈禱する短冊祈禱、特別護摩木をお焚き上げる火祭りを行いました。



朝稽古の風景

必勝祈願の祈禱

# 大須商店街ヒトモアクト

## 大須 大道町人祭



今年も大須最大のお祭り、大須大道町人祭が開催されます。大須は江戸時代より名古屋随一の歓楽街として栄えてきました。戦後は都市計画の流れに乗れず、衰退していききました。そんな危機的な状況のなか、大須の町人は大須の賑わいを取り戻すために立ち上がり、市民による市民のためのお祭りとして昭和53年(1978)に大須大道町人祭を生み出しました。昨年は節目の40回目、今年も平成最後の大道町人祭として41回目を迎えます。

大道町人祭の最大の華は、「おいらん道中」。一般公募で選ばれた女性たちが、約20kgもある艶やかな花魁(おいらん)の衣装を身にまとい、傘持ちやお供の男衆、かむろ、新造を引き連れ、高下駄で八文字を描きながらしゃなりしゃなり

りと大須の街を練り歩きます。おいらん道中は、当寺での前夜祭をはじめ、各日行われます。その他、全国各地から40組、200名を超える大道芸人が、大須商店街の各会場に集い、日本の伝統的な大道芸から、独創的なパフォーマンス、感動的な歌や踊りに至るまで、持てる技の全てを披露します。日本で最初に誕生した大道芸の祭典を是非お楽しみ下さい。

●実行委員長より挨拶  
万松寺 木下 浩介  
近年、国内はもとより外国人観光客の方も大須商店街に足を運んで下さるようになりました。言葉が通じずとも、楽しければ笑顔になれるのは万国共通だと思います。年代の差も関係なく誰もが笑顔になれる、そんなお祭りになりたいと思います。  
他では真似の出来ない街、観客、芸人が一体になった祭りを是非ご堪能下さい。

開催日程  
大須大道町人祭  
平成30年10月13日(土)  
14日(日)

### Pick Up Spot 万松寺

ごまき護摩木 お焚き上げ

護摩とは、サンスクリット語の「ホーム」からきています。お焚き上げとは、仏の世界への入り口となる護摩壇の火へ、名前と願目を書いた護摩木を投じて祈願や供養を行うことです。一本ずつ読み上げ、お焚き上げすることで護摩木の煙と共に願目を仏様に届けます。  
万松寺では、身代不動明王のご縁日にご真前にてお焚き上げを行います。ご希望の方は、祈禱受処へお申し込みください。

### 白龍護摩木

仏法の守護神とされる龍に見立て、いろいろな願目を託してお焚き上げします。  
当寺の白龍にあやかり、白龍護摩木と名付けました。

### 七龍護摩木

龍の化身と言われる七色の虹を、並んで飛ぶ七匹の龍に見立て、代表的な七つの願目を託して一度にお焚き上げします。

### 供養護摩木

亡くなられた方の供養としてお焚き上げすることで、功德を届け供養します。  
また、ペット供養としてのお焚き上げも承ります。

### 百八支木添護摩

煩惱と同じ数である百八本の支木をお焚き上げすることで、煩惱を浄化し、ご自身を清めます。

国産松坂牛を中心とした本格ステーキをご賞味あれ  
お客様の目の前で一品一品の料理を手がける大須名物のステーキ店

大須 万松寺 五代目橋本  
住所 名古屋市中区大須3-20-26  
営業時間 ランチ …… 11時半～15時  
ディナー …… 18時～22時  
(ディナーは予約優先になります)

052-228-7872

## 身元保証人 引き受けます。

入院・入居時の保証人  
緊急時駆けつけ  
医療同意  
葬祭支援

ひとり暮らしの高齢者の「総合支援サービス」です。施設入居や入院時の身元引受け、生前の意志に基づいた死後の葬儀の喪主代行やご供養まで。(一社)ライフエンディング・ステージの加盟店として活動しており、グループ全体では年間約450件の実績があります。

●ご相談、お問い合わせは  
0120-967-222 受付時間 9:00～18:00

お墓じまい・改葬手続き・お墓の改修・追加彫刻など  
お墓のことでお困りの方

県外にお墓を持つ方からも多くのご支持を頂いております。

お墓にまつて何からやるの?  
遠方だから改葬がしたい…  
お墓が古い

お墓に関することなら全てご相談ください  
例えば、お墓のお引越し一つするにも、多くの手順や手続きが必要です。難しいことほど、弊社にお任せください。

有能な有資格者が多数在籍  
ファイナンシャルプランナー、終活アドバイザー、墓石ディレクターなどの有資格者が在籍しているので、面倒な手順全てを手引きすることができます。

美尚株式会社 0120-622-340  
名古屋市中区大須3-30-40 ○平日9:30～18:00まで ○土日祝も営業

## 相続と遺言の相談窓口

司法書士・行政書士  
つむぐ相続法務事務所

■相続で揉めない様にいまから準備したい方  
■介護・認知症になったときのことが心配な方  
■相続手続でお困りの方

ご相談・お問い合わせ [9:00～19:00]  
TEL: 052-602-5551  
〒467-0806 名古屋市中区瑞穂区瑞穂通8丁目9番1号 新瑞センタービル3階

相談 初回無料  
相続 専門  
出張 相談可  
土日 相談可

代表司法書士 酒井太輔